

様式第 6 号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和 7 年 4 月 9 日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市佐土原町下田島 20660 番地
	宮崎佐土原総合支所 北別館
名 称	広瀬西小校区地域づくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名	会 長 根 井 翼
電 話 番 号	0 9 8 5 - 7 2 - 0 3 5 5

令和 6 年 5 月 2 8 日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第 1 8 条第 1 項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (1) 事業実施報告書
- (2) 収支決算書又は収支決算書
- (3) 事業別収支計算書
- (4) その他

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

佐土原地域自治区
広瀬西小校区地域づくり推進委員会

1 総括

当初計画していた事業については、すべて順調に実施することができた。特に6部会合同で行うウォーキングフェスタ事業並びに芸能文化まつりは、今年度も小・中・高校をはじめ各関係機関や地域住民の協力を得て大変充実したものとなった。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	差	備 考
基礎交付金	1,002,000	1,002,000	0	
繰越金	128,077	128,077	0	
自主財源	450,923	286,197	▲ 164,726	
負担金	90,000	72,000	▲ 18,000	3,000×24名
合 計	1,671,000	1,488,274	▲ 182,726	

(2) 支出の部

分野	事 業 名	実施年数	予 算	決 算	差	備 考
防	小学生見守り事業	20年目	47,000	15,861	▲ 31,139	
防	安心安全のまちづくり事業	20年目	5,000	1,644	▲ 3,356	
福	災害時における安否確認訓練事業	19年目	20,000	9,002	▲ 10,998	
環	環境の保全と美化に関する事業	20年目	79,000	58,759	▲ 20,241	
再	芸能文化まつり事業	16年目	530,000	495,805	▲ 34,195	
伝	校区内の伝統文化に関する事業	16年目	30,000	10,732	▲ 19,268	
他	ウォーキングフェスタ事業	19年目	450,000	358,129	▲ 91,871	
他	住民に対する広報事業	20年目	270,000	225,720	▲ 44,280	
他	食の安心安全に関する事業	14年目	190,000	197,364	7,364	
他	校区内のスポーツふれあい事業	14年目	50,000	23,621	▲ 26,379	
繰 越 金				91,637	91,637	
合 計			1,671,000	1,488,274	▲ 182,726	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業 ①

事業名	小学生見守り事業	実施年数	20年目												
事業期間	開始：平成17年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	活動方針　　テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○ともに支え合い安全で、安心して暮らせるまち														
目的 (期待される効果)	広瀬西小学校児童が、安心して安全に登下校ができるように地域を挙げてサポートする。 (学校・地域・家庭が一体となった事業の定着)														
事業内容・手段	(1)　PTA、高齢者団体、推進委員会登録ボランティアの見守り活動の調整 (2)　地域別安全対策打ち合わせ会の実施（6月12日（水）） ○会場 久峰地区交流センター小ホールで全体会、3会場に分かれ分科会 ○出席者 PTA、高齢者団体、民生委員児童委員、交番、宮崎地区地域安全協会、小学校、各地区の自治会長、推進委員会役員、部会員 ○内容 見守り活動上の問題点や地域内の危険箇所などの情報の共有化 (3)　児童とボランティアとの対面式の実施（4月25日(木)） ○会場　広瀬西小学校 ○内容　見守り隊を通学路別に紹介 (4)　見守り隊感謝のつどいの実施（3月2日（日）） ○会場　久峰地区交流センター ○内容　見守りボランティアに対する感謝のつどいと情報交換														
事業費	15,861円														
対象者	広瀬西小学校児童・保護者・地域に居住する住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年　度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>　　広瀬西小児童</td><td>308人</td><td>321人</td></tr><tr><td>　　スタッフ</td><td>330人</td><td>340人</td></tr><tr><td>　　合　計</td><td>638人</td><td>661人</td></tr></table>			年　度	令和6年度	令和5年度	広瀬西小児童	308人	321人	スタッフ	330人	340人	合　計	638人	661人
年　度	令和6年度	令和5年度													
広瀬西小児童	308人	321人													
スタッフ	330人	340人													
合　計	638人	661人													
住民の声（アンケートの結果等）	○子どもたちのあいさつが良く元気をもらっている。 ○危険な箇所があったが、家主や地区の協力を得て改善されてきている。 まむしに注意の看板も効果的で除草もされ見通しがよくなってきた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域のニーズの把握	A	A	共働き家庭が殆どの昨今、児童の登下校時、見守りができる人が少ない。		広報	◎事業の周知	A	A	・推進委員会広報紙への掲載 ・文書配付（個人・団体・自治会長経由等）	
	2 住民参加	A	A	高齢者クラブや、委員会登録見守りボランティアがPTAと協力しながら参加している。		事業の効果	◎課題解決への作用	A	A	常に学校・見守り隊との連絡を取り、情報共有に努め、問題点の分析や対策をとっている。	
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	高齢者クラブ・PTA・自治会・委員会登録ボランティアとの連絡調整を担当部会が行っている。			◎住民の満足度	A	A	児童が事故なく安全に通学している。学校や保護者からも喜ばれている。	
	◎各種団体との連携	A	A	○小学校・交番・宮崎地区地域安全協会等を連携・情報交換		事業継続の必要性				◎有・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ○「安全対策会議」や「見守り隊感謝のつどい」で危険箇所や不審者情報などが共通理解でき対策をとることができた。見守りボランティアの活動支援として、本年度からボランティア活動保険に加入した。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済	
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[1] 防犯・防災に係る事業 ②

事業名	安心安全のまちづくり事業		実施年数	20年目												
事業期間	開始：17年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	活動方針 テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○ともに支え合い安全で、安心して暮らせるまち															
目 的 (期待される効果)	緊急時に蘇生活動ができる人材の育成と安心安全のまちづくり活動参加意欲の醸成を図る。 (地域の安心安全活動への取り組み)															
事業内容・手段	(1) 救命救命講習会の実施 会場 久峰地区交流センター研修室 実施時期 令和7年3月9日(日) 内容 心肺蘇生法・AEDの使い方・気道異物の除去や止血法 ※宮崎市北消防署北部出張所職員3名による実技等の指導															
事業費	1,644円															
対 象 者	地域に居住する住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>9人</td><td>6人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>11人</td><td>9人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>20人</td><td>15人</td></tr></table>				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	9人	6人	スタッフ	11人	9人	合 計	20人	15人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	9人	6人														
スタッフ	11人	9人														
合 計	20人	15人														
住民の声 (アンケートの結果等)	○いざ自分が救命処置の場面に立ち会うことになった時にあわてないためにも毎年でも受けたいと思う。 ○2時間の講習があつという間に過ぎた。受講してよかった。 ○毎年内容が変わっているのも、続けて受けるべきだと思った。 ○内容が充実してよかった。来年は他の人を誘ってみたい。 ○心肺蘇生法やAEDの実習がよい。頭ではわかっているけど行動が伴わない。できない。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	最新の救命方法の実技や指導の講習に参加したい住民が多い。		広報	⑤事業の周知	A	A	事業チラシの中で住民に知らせたい内容について自治会長を通じて配布した。
	3 住民の参加	C	C	過去と比べると人数的には減少してきている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	地域住民が実習することにより、交流の場ともなった。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	担当の部会（ふるさと安心部会）が地区住民に呼びかけたが、参加者は少なかった。			⑦住民の満足度	A	A	毎年内容が変わり、充実してよかったとの声が多かった。
	④各種団体との連携	A	A	消防署北部出張所と事前に打ち合わせを行っている。		事業継続の必要性		⑧・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ○高齢化社会となり、いざという時のために役立つという参加者がいた。 ○駐車場の都合で会場を変更したが、他校区の住民との交流が図られた。 ○若い世代の参加者が少ないため、小・中学生にも呼びかけ意識の向上を図りたい。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業 ①

事業名	災害時における安否確認訓練事業		実施年数	19年目												
事業期間	開始：平成18年度		終了：	なし												
地域魅力発信 プランとの関連	活動方針 テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○ともに支え合い安全で、安心して暮らせるまち															
目 的 (期待される効果)	災害時における安否確認を必要とする地域住民の安否確認訓練を日頃から実施することにより、災害発生時に対応できる体制の確立。 (訓練の成果が災害発生時に発揮できる。)															
事業内容・手段	(1) 「安否確認訓練」による災害時安否確認訓練 令和6年7月7日(日) (2) 自治会長・統括者・副統括者会議の開催 令和6年6月26日(水) 安否確認者→副統括者→統括者→自治会長に報告 副統括者→統括者→本部に報告→本部で状況集計 (3) 常時、安否確認訓者一覧表の修正を行い実態の把握に努める。															
事業費	9,002円															
対 象 者	地域に居住する高齢者及び一人暮らしの方で安否確認登録者															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>45人</td><td>34人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>64人</td><td>68人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>109人</td><td>102人</td></tr></table>				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	45人	34人	スタッフ	64人	68人	合 計	109人	102人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	45人	34人														
スタッフ	64人	68人														
合 計	109人	102人														
住民の声 (アンケートの結果等)	○「安否確認訓練」は、一人暮らしなので要確認者として登録していただき助かる。 ○「一人暮らしなので地域の方が見守ってくださり、とてもありがたい。」と離れて住む家族の方からの声が多い。 ○「安否確認訓練」の日は確認が終わった後、要確認者の方は確認者とお茶を飲んだり、おしゃべりをしたりするのを楽しみにしているところもある。 ○いざ自分が救命処置の場面に立ち会うことになった時にあわてないためにも何回でも受けたと思う。 ○3時間がすぐに過ぎたようだった。受講してよかった。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域のニーズの把握	A	A	○「一人暮らしの人や家族で安否確認ができない人」は統括者を中心に日頃から住民の実態把握をしている。		広報	5 事業の周知	A	A	○要確認世帯へチラシ配布 ○確認者へ説明文書の配布と説明 ○広報紙（全戸配布） ○自治会長・統括者・副統括者）会議	
	2 住民参加	A	A	要確認者世帯については統括者・副統括者・確認者が連絡を取り合っている。		事業の効果	6 課題解決への作用	B	B	災害時に備えこの訓練が役立つが、個人事情もあり要確認世帯の把握が困難な点もある。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各自治会からの要望を受け取り組んでいる事業である。			7 住民の満足度	A	A	実際に災害がおきたときに役立つとの意見が多い。	
	4 各種団体との連携	A	A	自治会・民生委員と本推進委員会が連携をとりながら実施している。		事業継続の必要性		④有・無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ○訓練前の会議では自治会長・統括者・副統括者が一堂に会し、共通理解を図った。 ○訓練を繰り返すことで要確認者と確認者の繋がりができ、信頼関係も高まった。 ○訓練の時に不在や連絡がとれないことで、現在の状況（施設入居・入院等）の実態が把握できる。新規登録や登録抹消など見直しにもつながっている。									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[3] 環境に係る事業

事業名	環境の保全と美化に関する事業		実施年数	20年目												
事業期間	開始：平成17年度		終了：	なし												
地域魅力発信 プランとの関連	活動方針　　テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○自然と共生し、快適に暮らせるまち ○郷土を誇りに想い、心豊かな人が育つまち															
目 的 (期待される効果)	地域の住民自らが考えて、住みよい環境の地域社会を築いていく行動力及び資質の育成。 (地域の住民の環境問題に関する意識の高揚)															
事業内容・手段	(1) 環境美化看板の設置 (2) 道路パトロールボランティア活動への参加 (3) 石崎浜ビーチクリーン活動に参加（5月25日(土)・7月27日(土)） (4) 「ホタル探検隊」（中止...6月8日(土) 平小牧公民館） (5) 「親子で目指せ！虫捕り名人」宮崎昆虫同好会講座（7月21日(土) 平小牧公民館） (6) 稚魚放流体験（10月23日(月) 東小牧自治会近くの石崎川左岸）															
事業費	58,759円															
対 象 者	地域に居住する住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>99名</td><td>68名</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>133名</td><td>162名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>232名</td><td>230名</td></tr></table> ※道路パトロールボランティアは毎月地区ふるさと環境部会員が実施 ○ビーチクリーン活動（5月25日...10名（内小学生・幼児0名）） ○ビーチクリーン活動（7月27日...11名（内小学生・幼児2名）） ○親子で目指せ！虫捕り名人（7月21日...36名（内小学生・幼児14名）） ○稚魚放流体験（10月23日...75名（内小学4年生54名））				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	99名	68名	スタッフ	133名	162名	合 計	232名	230名
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	99名	68名														
スタッフ	133名	162名														
合 計	232名	230名														
住民の声（アンケートの結果等）	○「犬の糞始末看板」の設置で、道路がきれいになったと喜ばれている。 ○石崎浜のビーチクリーン活動には毎回参加している。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項			評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	住みよい環境の地域社会にするために住民の声を拾いながら事業内容を計画している。	広報	4 事業の周知	A	A	ホタル探検隊と虫捕り名人は事業チラシを自治会回覧とPTAに配布して周知した。	
	2 A住民の参加	A	B	事業チラシは配布しているが、特に若年層の参加が少ない。		事業の効果	5 課題解決への作用	A	A	美化看板の設置や道路パトロールボランティアは長年実施し、効果が出てきている。
効果的・効率的な取り組み	⑥地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各地区の「ふるさと環境部会員」が危険箇所の報告をし、改善に努めている。	事業の必要性		6 住民の満足度	A	A	稚魚放流体験では殆ど初めての体験で、小学生がいきいきとした表情で参加しとても喜ばれた。
	⑥各種団体との連携	A	A	自治会への連絡を密にし、危険箇所を把握したり、汚れている場所の改善に努めている		事業継続の必要性			⑦・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ○若年層の参加が少ないので、小・中学校等にも呼びかけたい。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生に係る事業

事業名	芸能文化まつり事業	実施年数	16年目																
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし																	
地域魅力発信プランとの関連	活動方針 テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○自然と共生し、快適に暮らせるまち ○ともに支え合い安全で、安心して暮らせるまち ○活気があふれいきいきと働けるまち ○郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち																		
目的 (期待される効果)	地域の住民の創作意欲の喚起と芸能文化を鑑賞する機会を設けるとともに、郷土の物産の提供によって、郷土を見直す心の醸成を図る。																		
事業内容・手段	○地域住民が持っている芸能文化の発掘・発表・展示 ○地場産品や物品のバザーとブックリサイクル活動 ○幼稚園から大人までの作品展開催 ○あらゆるジャンルのステージでの発表 ○防災に関する体験 ○広瀬西小学校全児童参加による学年毎のステージ発表 ○広瀬西小学校全児童の学年別体験活動（読み聞かせ・石器レプリカづくり・防災体験・茶道） ○校区内幼稚園園児・久峰中学生（司会・スタッフとしてボランティア参加） （事業実施日）令和7年1月25日（土）午後（展示会のみ） 1月26日（日）午前・午後 （会場）佐土原総合文化センター全館																		
事業費	495,805円																		
対象者	地域に居住する住民及び広瀬西小学校全児童・久峰中学校生徒																		
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>延べ2,878人</td><td>延べ2,422人</td><td></td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>延べ234人</td><td>延べ231人</td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>延べ3,112人</td><td>延べ2,653人</td><td></td></tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度		一般参加者	延べ2,878人	延べ2,422人		スタッフ	延べ234人	延べ231人		合 計	延べ3,112人	延べ2,653人	
年 度	令和6年度	令和5年度																	
一般参加者	延べ2,878人	延べ2,422人																	
スタッフ	延べ234人	延べ231人																	
合 計	延べ3,112人	延べ2,653人																	
住民の声（アンケートの結果等）	○広瀬西小学校児童のステージ発表では発表する児童と観客が一体となって楽しい時間を共有した。よい芸能文化まつりだと賞賛の声が多かった。																		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	ステージ発表・展示会・バザー・体験教室等地区住民の希望や協力により開催している。	事業の周知	広報	5 事業の周知	A	A	○事業チラシ（展示会・ステージ出演希望・バザー品依頼） ○直前チラシ（プログラム）全戸配布 ○広報紙（全戸配布）で様子を知らせる。	
	2 住民の参加	A	A	昨年と比較し、特に2日目のステージに多くの住民が集まり、活気を帯びていた。		事業の効果	6 課題解決への作用	A	A	準備から片付けまで実行委員をはじめ部会員・各地区自治会長が積極的に活動した。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	役員・部会員・各地区自治会長で実行委員会を立ち上げ、役割分担をして臨んだ。			7 住民の満足度	A	A	広瀬西小校区内住民が創作・芸能文化の鑑賞・郷土の物産の提供など、郷土のよさを再発見する場となり、喜ばれた。	
	④各種団体との連携	A	A	体験部門では、消防署・消防団や県埋蔵文化財C、読み聞かせ・茶道等協力を受けた。		事業継続の必要性				⑦・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ○ステージ部門の司会と各部門のスタッフに、久峰中学校生徒をボランティアとして募集し、2日間で50名を超える参加があり、住民や小学生との交流ができた。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済	
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 伝統文化に係る事業

事業名	校区内の伝統文化に関する事業	実施年数	16年目																
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし																	
地域魅力発信プランとの関連	活動方針 テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○自然と共生し、快適に暮らせるまち ○郷土を誇りに想い、心豊かな人が育つまち																		
目的 (期待される効果)	地域の伝統文化や地域の歴史を知ることによって、郷土を愛する心の育成 (今まで知らなかった郷土の伝統文化等を知ることによって、郷土を見直す心の育成)																		
事業内容・手段	○広瀬西小学校の児童が継承している「平小牧臼太鼓踊り」への協力と臼太鼓のメンテナンスの実施...10月6日(日)(場所...広瀬西小学校) ○埋蔵文化財センター出前講座「タイムスリップ探検隊」の開催 12月7日(土) センターの仕事の紹介、地域の歴史、施設内見学、糸つむぎ体験・石斧体験・ドングリつぶし体験、弓矢体験 ※宮崎県埋蔵文化財センターを会場に講義を受講 一般4名 幼児・小・中学生9名 スタッフ13名 計26名 ○芸能文化まつりにおける広瀬西小学校児童の石器レプリカ作成体験援助 ○「ひろにし文芸」第3集の発行 芸能文化まつりの開会に合わせ、地域住民から作品を募集し編集した。																		
事業費	10,732円																		
対象者	地域に居住する住民																		
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>13人</td><td>14人</td><td></td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>13人</td><td>14人</td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>26人</td><td>28人</td><td></td></tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度		一般参加者	13人	14人		スタッフ	13人	14人		合 計	26人	28人	
年 度	令和6年度	令和5年度																	
一般参加者	13人	14人																	
スタッフ	13人	14人																	
合 計	26人	28人																	
住民の声(アンケートの結果等)	○宮崎県埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財に関するお話や各種体験を通して、当時にタイムスリップし様々なことを教えていただき勉強になった。																		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	地域住民は地域の歴史に関心のある人は多いが、学習する機会や場所がわからない。		広報	⑤事業の周知	A	A	○埋蔵文化財センター出前講座チラシ（PTA配布） ○広報紙（回覧）	
	2 住民の参加	B	B	埋蔵文化財センター出前講座への特に若年層の参加が少ない。		事業の効果	6 課題解決への作用	A	A	各事業への参加者は内容に大変満足している。参加者を増やす工夫を検討したい。	
効果的・効率的な取り組み	⑥地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	平小牧臼太鼓踊りや古墳は校区内の文化財であり、「ふるさと文化部会」が継承や情報収集に努めている。			7 住民の満足度	A	A	参加者は郷土の文化に触れて達成感を味わっている。	
	⑦各種団体との連携	A	A	小学校や宮崎県埋蔵文化財センターとの連携を積極的に図った。		事業継続の必要性				⑦・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ○宮崎県埋蔵文化財センター出前講座の内容が充実していてよかった。									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[6] その他の事業

事業名	ウォーキングフェスタ事業	実施年数	19年目																
事業期間	開始：平成18年度	終了：なし																	
地域魅力発信 プランとの関連	活動方針　テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○自然と共生し、快適に暮らせるまち ○ともに支え合い安全で、安心して暮らせるまち ○活気があふれいきいきと働けるまち ○郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち																		
目　　的 (期待される効果)	地域の良さを再発見する機会にするとともに、心身のリフレッシュの場にする。また、集団で活動することによって、連帯意識及び絆社会づくりを目指す。 (集団で活動する楽しさと心の連携の大切さの醸成)																		
事業内容・手段	○地域を生かしたウォーキングコースの設定 ○老若男女が多く参加できる複数コースの設定 ○徒歩及びバス利用区間を効率的に設定 ○グループを編成した安全・安心な活動 （事業実施日）　　　　　令和6年10月13日（日） （A・Bコース）　　　　　フローランテ宮崎とラグゼーッ葉を出発し、阿波岐原森林公園内の遊歩道を歩き宮崎港を目指した。 宮崎港フェリーターミナルでは、カーフェリーの乗船見学を実施した。 （スタート・ゴール）　　広瀬西小学校 ※ゴールではカレーのふるまいと抽選会を行った。																		
事業費	358,129円																		
対　象　者	地域に居住する住民																		
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年　度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td><td></td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>79人</td><td>159人</td><td></td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>63人</td><td>71人</td><td></td></tr><tr><td>合　計</td><td>142人</td><td>230人</td><td></td></tr></table>			年　度	令和6年度	令和5年度		一般参加者	79人	159人		スタッフ	63人	71人		合　計	142人	230人	
年　度	令和6年度	令和5年度																	
一般参加者	79人	159人																	
スタッフ	63人	71人																	
合　計	142人	230人																	
住民の声（アンケートの結果等）	○初めて訪れる歩くところもあり、気持ちがよく感激した。 ○去年は荒天でフェリーの乗船が出来なかったが、今年は晴天にも恵まれて景色もよく、乗船見学では案内者の説明も分かりやすくとてもよかった。 ○昼食のカレーが、毎回とてもおいしい。																		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度			本年度	前年度				
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	毎年、事業実施時にアンケートを行い。その意見を踏まえ、次年度の事業を計画実施している。		広報	⑤事業の周知	A	A	○事業チラシ（全戸配付） ○広報紙（全戸配布） ○スポーツ少年団にも呼びかけた。	
	2 住民の参加	A	A	今年度も一般参加者・各部会員（スタッフ）がたくさん参加した。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	今年度も小学生や高齢者まで参加し、スタッフとの交流が図られた。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	実行委員会を立ち上げ、計画準備片付けまで積極的に取り組んだ。			7 住民の満足度	A	A	アンケートでは、90％以上が楽しかった。もう一度フェリー乗船見学を希望される方もいた。	
	④各種団体との連携	A	A	フローランテ宮崎や宮崎カーフェリーの全面的な協力を得た。		事業継続の必要性		⑦・無			
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ○小学生以下の児童の参加もあり、にぎやかに開催できた。 ○参加者が多く、昨年抽選会の受付が混雑したため、スタート時間をずらしたためスムーズにできた。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済	
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[6] その他の事業 ②

事業名	住民に対する広報事業	実施年数	20年目																
事業期間	開始：平成17年度	終了：なし																	
地域魅力発信 プランとの関連	活動方針 テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○自然と共生し、快適に暮らせるまち ○ともに支え合い安全で、安心して暮らせるまち ○活気があふれいきいきと働けるまち ○郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち																		
目的 (期待される効果)	広瀬西小校区地域づくり推進委員会の事業内容及び地域内の特色ある活動や人材等を広く周知して、広瀬西小校区の良さの再確認 (地域の新しい発見等を通して広瀬西小校区の良さの再確認)																		
事業内容・手段	(1) 広報紙「つくしんぼう」を発行(第62号～64号) カラー写真を多く取り入れた内容での活動紹介 (2) 推進委員会事業の広報 各部会事業・6部会合同事業の紹介資料の作成と掲示 (3) ホームページの更新																		
事業費	225,720円																		
対象者	地域に居住する住民・関係各機関																		
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>14人</td><td>11人</td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>14人</td><td>11人</td><td></td></tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度		一般参加者				スタッフ	14人	11人		合 計	14人	11人	
年 度	令和6年度	令和5年度																	
一般参加者																			
スタッフ	14人	11人																	
合 計	14人	11人																	
住民の声(アンケートの結果等)	○推進委員会事業や各部会の活動内容がよくわかる。 ○校区内の自治会長を、広報紙で紹介することは効果的である。																		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	自分の地区以外の地区のことや推進委員会がどんなことをしているか知りたい。		広報	5 事業の周知	A	A	広報紙（全戸配布） 他小中学校等関係団体にも配布	
	6 住民の参加	A	A	事業の写真や説明を会議の折などに掲示して関心をもってもらっている。		事業の効果	6 課題解決への作用	A	A	事業の写真記録をとることにより、新たな発見もあり、次年度への参考にできる。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	合同事業などはふるさと情報部会が役割分担して写真や記事の収集を行っている。			7 住民の満足度	A	A	広報紙・掲示資料がよくできているとの声が聞かれる。	
	④各種団体との連携	A	A	久峰地区交流センターにも事業の紹介を掲示してもらっている。		事業継続の必要性				④有・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ○特にウォーキングフェスタ事業では、ふるさと情報部会員が役割を分担し、取材の効率化を図り、広報紙の編集につながることができた。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未・済	
		＜意見への対応＞									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未・済	
		＜意見への対応＞									

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[6] その他の事業 ③

事業名	食の安心安全に関する事業	実施年数	14年目
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	活動方針 テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○自然と共生し、快適に暮らせるまち ○ともに支え合い安全で、安心して暮らせるまち ○活気があふれいきいきと働けるまち		
目的 (期待される効果)	県内各地で地域に根ざして生産される安全な食品及び加工品等の実際を訪問研修することによって、食の安心安全に対する意識の高揚を図る。 (実際に、見たり味わったり、食に関する学びを通して情報交換等を行う)		
事業内容・手段	○バスを利用した日帰り視察研修の開催 (研修先) くしまアオイファーム(串間市) (日時) 令和7年3月26日(水) 10時30分～12時10分 ○「食の安心安全」についての訪問研修と交流活動 ○広く参加者を募集し、地域内のきずなづくりの醸成 ○バスの中での情報交換と交流活動		
事業費	197,364円		
対象者	地域に居住する住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和6年度	令和5年度
	一般参加者	20人	22人
	スタッフ	4人	10人
	合 計	24人	32人
住民の声(アンケートの結果等)	○アオイファーム見学では、社長やスタッフの方の熱意が伝わってきた。 ○参加された方と視察地やバスの道中で楽しく話が出来て交流ができた。 ○とても満足したので、来年もぜひ参加したい。		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	1 地域のニーズ把握	A	A	食の安心安全に関心を持つ人が多いので、ニーズにかなう内容・場所を検討している。		広報	5 事業の周知	A	A	事業チラシ（回覧）
	2 住民参加	A	A	内容や場所が魅力的で毎年参加者が多い。		事業の効果	6 課題解決への作用	A	A	応募者が多かったので、バスの確保に努め24名が参加できた。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会としての妥当性	A	A	「ふるさと安心部会」が研修先の候補をあげ、調べて決定した。			7 住民の満足度	A	A	研修視察・バスの中で楽しく交流ができた。
	④各種団体との連携	A	A	研修視察先と事前に打ち合わせを行った。		事業継続の必要性		④有・無		
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 毎年参加したいとの要望が多く、やりがいを感じる事業になっている。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未・済
		＜意見への対応＞								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未・済
		＜意見への対応＞								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[6] その他の事業 ④

事業名	校区内のスポーツふれあい事業	実施年数	14年目																
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし																	
地域魅力発信 プランとの関連	活動方針 テーマ「躍動をはぐくむ安らぎと潤いのある地域」 ○自然と共生し、快適に暮らせるまち ○ともに支え合い安全で、安心して暮らせるまち ○活気があふれいきいきと働けるまち ○郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち																		
目的 (期待される効果)	校区内のスポーツ行事や伝統的な文化を継承する行事に参加することによって自治会内。自治会館。親子のきずなづくりを図る。 (校区内のよさを見直すとともに、みんなで創りあげようとする心の醸成)																		
事業内容・手段	○グラウンドゴルフ大会の開催 (時期) 令和6年11月17日(日) (会場) 広瀬西小学校 グラウンド 一般38名、スタッフ10名 計48名 ○手作り凧講習会の開催(2回開催) 12月15日(中止)・22日 一般1名、児童2名、スタッフ2名 計5名 ○手作り凧の「新春凧揚げ大会」の開催 (時期) 令和7年1月5日(日) (会場) 佐土原総合文化センター緑地広場 一般3名、児童4名、スタッフ4名 計11名 ○佐土原町体育会行事への支援活動																		
事業費	23,621円																		
対象者	地域に居住する住民																		
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>48人</td><td>70人</td><td></td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>16人</td><td>21人</td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>64人</td><td>91人</td><td></td></tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度		一般参加者	48人	70人		スタッフ	16人	21人		合 計	64人	91人	
年 度	令和6年度	令和5年度																	
一般参加者	48人	70人																	
スタッフ	16人	21人																	
合 計	64人	91人																	
住民の声(アンケートの結果等)	○他の地区の方と一緒にプレイや話をし、とても和やかで楽しかった。 ○手作り凧は難しいが、出来上がった時の達成感が素晴らしい。																		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	各地区で日頃からグラウンドゴルフ盛んで楽しむ人が多い。		広報	◎事業の周知	A	A	事業チラシ（回覧）に加え、高齢者クラブへも参加を呼びかける。	
	2 住民の参加	B	B	グラウンドゴルフ大会は、多行事と重なり参加者が減ったが、賑やかに行えた。		事業の効果		◎課題解決への作用	A	A	グラウンドゴルフ大会は、毎年参加者が多く熱気のある大会となった。
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	校区内でのスポーツ行事を「ふるさと体育部会」が準備から片付けまで担当している。					◎住民の満足度	A	A
	◎各種団体との連携	A	A	小学校・子ども会 高齢者クラブ・ミネベアミツミサッカー部等と連携		事業継続の必要性				⑦・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ○グラウンドゴルフ大会は、地区行事と重なり昨年度より参加者が減少した。 ○凧揚げ大会は、市販の凧でも自由に参加できるよう改善したが思うほどの効果がなかった。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未・済	
		＜意見への対応＞									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未・済	
		＜意見への対応＞									

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	小学生見守り事業
-----	----------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	15,861	
2			
3			
4	合計 (A)	15,861	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	需用費	15,861	消耗品 5,584(カイロ4,838、配布袋 278, 用紙468) 食糧費 10,277(安全対策会議お茶 3,245 感謝のつどいお茶1,416、菓子5,616)
4	旅費	0	
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び貸借料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	15,861	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	安心安全のまちづくり事業
-----	--------------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	1,644	
2			
3			
4	合計 (A)	1,644	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	需用費	1,644	消耗品468(用紙468) 食糧費1,176 (お茶1,176)
4	旅費	0	
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び貸借料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	1,644	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	災害時における安否確認訓練事業
-----	-----------------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	9,002	
2			
3			
4	合計 (A)	9,002	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	需用費	9,002	消耗品9,002(タオル8,534、用紙468)
4	旅費	0	
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び貸借料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	9,002	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	環境の保全と美化に関する事業
-----	----------------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	58,759	
2			
3			
4	合計 (A)	58,759	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	3,000	虫捕り名人講師料3,000
3	需用費	13,499	消耗品費10,945 (用紙468、犬のフン対策看板9,900、熱中症対策179、防虫対策398) 食糧費2,554 (ビーチクリーン・稚魚放流・河川清掃お茶等)
4	旅費	0	
5	役務費	2,660	傷害保険料 2,660 (ビーチクリーン1,120、虫捕り名人980、稚魚放流・河川清掃560) @28×95名
6	委託料	0	
7	使用料及び貸借料	39,600	稚魚放流時バス貸切料金
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	58,759	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	芸能文化まつり事業
-----	-----------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	164,889	
2	繰越金	78,077	
3	自主財源	252,839	
4	合計 (A)	495,805	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
4	旅費	0	
3	需用費	379,920	お礼品タオル34,650 (@210×165本) 中学生お礼7,000農産物提供者お礼 7,860、消耗品163,055 (賞品34,867 焼 き芋6,912 展示77 茶道体験7,680 非常 食30,996 食品容器等11,610 インク 40,590 用紙15,767 封筒649 感染症 用品4,122 その他9,785) 賄材料費 48,419 (食堂カレー・うどん) プログラム作成100,100 (700部) 食糧費18,836 (会議・食堂・スタッフ お茶)
5	役務費	13,040	傷害保険料4,480 (@28×160名) 食堂許可申請手数料3,500 切手3,300 振込手数料1,760 (880+330+550)
6	委託料	50,000	プログラムデザイン料10,000 舞台技術人件費40,000 (@20,000×2 名)
7	使用料及び貸借料	52,845	佐土原交流プラザ25,295 (施設使用料 16,720・付帯設備使用料8,575) プロパ ンガス・調理器等17,050 車両借上料 10,500
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	495,805	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	校区内の伝統文化に関する事業
-----	----------------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	10,732	
2			
3			
4	合計 (A)	10,732	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	需用費	10,172	消耗品費8,756 (用紙1,398 ひろにし文芸用紙・製本テープ5,878、臼太鼓メンテナンスペンキ1,480) 食糧費1,416 (タイムスリップ探
4	旅費		
5	役務費	560	傷害保険料560 (タイムスリップ探検隊@28×20名)
6	委託料	0	
7	使用料及び貸借料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	10,732	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	ウォーキングフェスタ事業
-----	--------------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	300,135	
2	繰越金	50,000	
3	自主財源	7,994	
4	合計 (A)	358,129	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	需用費	124,975	消耗品44,626 (参加賞タオル24,420 賞品12,470 子ども参加賞1,776調理用消耗品1,992 用紙1,600封筒1,990賞品袋378) 賄材料費 49,871 (カレー200食分材料) 印刷製本費3,744(写真@48×78) 食糧費 26,734(試歩スタッフ弁当21,780@660×33 お茶1,416 塩分補給3,131ごみ袋407)
4	旅費	0	
5	役務費	5,604	傷害保険料2,324(@28×83名) 道路許可申請料 2,400振込手数料880 (参加賞タオル)
6	委託料	0	
7	使用料及び貸借料	227,550	◎試歩 貸切バス借上料49,500(大型@45,000×1台+税) ◎本番 貸切バス借上料165,000(大型@75,000×2台+税) 部会員有料道路使用料250 部会員車両借上料4,000(@500×8台) ガス炊飯器等8,800
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	358,129	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	住民に対する広報事業
-----	------------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	225,720	
2			
3			
4	合計 (A)	225,720	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	需用費	225,720	印刷製本費225,720 (「つくしんぼう」1,900部@75,240×3回)
4	旅費	0	
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び貸借料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	225,720	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	食の安心安全に関する事業
-----	--------------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	100,000	
2	自主財源	25,364	
3	負担金	72,000	参加料3,000円×24名
4	合計 (A)	197,364	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	需用費	37,872	消耗品費1,872 (用紙1,872) 食糧費36,000 (昼食代@1,500×24名)
4	旅費	0	
5	役務費	1,222	傷害保険料672 (@28×24名) 振込手数料550
6	委託料	48,000	くしまアオイファーム研修費 48,000 (@2,000×24名)
7	使用料及び賃借料	110,270	バス貸切料金105,650 (バス代 104,000、乗務員経費1,650)、高 速・有料代等4,620 (宮崎道・ 一ツ葉使用料3,620、駐車料金 1,000)
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	197,364	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原町域自治区

広瀬西小校区地域づくり推進委員会

事業名	校区内のスポーツふれあい事業
-----	----------------

(1) 収支の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	23,621	
2			
3			
4	合計 (A)	23,621	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	需用費	22,025	消耗品費 ◎グラウンドゴルフ大会 19,397 賞品（入賞・参加賞19,003、包装資材・設営テープ394） ◎凧揚げ大会2,628 賞品（入賞・参加賞2,229、包装資材・木工用ボンド399）
4	旅費	0	
5	役務費	1,596	傷害保険料1,596 グラウンドゴルフ大会1,036 (@28×37名)、凧揚げ大会560 (@28×20名)
6	委託料		
7	使用料及び貸借料	0	
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	23,621	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第10号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年 4月 9日

宮 崎 市 長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市佐土原町下田島20660番地
	宮崎市佐土原総合支所 北別館
名称	広瀬西小校区地域づくり推進委員会
代表者の氏名	会 長 根井 翼
電話番号	0985-72-0355

令和6年5月28日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において91,637円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添 付 書 類

令和6年度収支決算（見込）書

令和 7年 5月 20日

令和6年度 広瀬西小学校区地域づくり推進委員会への意見書〔事業実施報告〕

佐土原地域自治区地域協議会
会 長 根 井 翼

令和6年度の佐土原地域自治区（広瀬西小学校）の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていたので、承認いたします。

なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

計画に沿って適正な運営が図られていました。

事業実績報告書における自己評価を踏まえて、今後の事業に活かしてください。

事業の実施にあたっては、更に工夫を凝らして成果が得られるようにお願いします。

2 事業の推進体制

特にありません。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
芸能文化まつり事業	広瀬西小校区だけでなく幅広い地域に広報するのはどうか→会場が満席になるほど人が来る、広報のあり方について検討を行っていく

4 その他